

監的哨跡

帝国陸軍は、1929年にこの場所を監的哨（砲弾を目視するための施設）として建設しましたが、施設は第二次世界大戦後に廃止されました。その後何年もの間、村人はこの屋根付きのスペースを山から集めたたきつけを保管するのに使っていました。長く放置されていた頑丈なコンクリートの建物は、現在では主に展望台として使用されています。晴れた日には、島の灯台がある伊良湖岬と、弁天岬の険しい地形の両方が見えます。